

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100177		
法人名	株式会社 ライフサポートNEO		
事業所名	神埼紀水苑		
所在地	佐賀県神埼市神埼町鶴1342番地		
自己評価作成日	平成23年12月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年12月20日	外部評価確定日	平成24年1月12日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>会社全体での取り組みですが、今年度からスリー宣言を行いそれに基づいて取り組みをおこなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、退社出社時に全利用者様・全職員と挨拶、握手作戦</li><li>2、1日中、車椅子での生活をしない、脱車椅子作戦</li><li>3、認知症改善・予防プログラムの完全実施宣言</li></ol> <p>1、については入居者様と笑顔でのお声掛けが出来、今まで以上のコミュニケーションが計れている。</p> <p>2、車椅子使用の方にもお声掛けを行い、付き添いにての歩行を行う事で、車椅子使用が減り下肢筋力の低下の防止につながっていると思います。</p> <p>3、午前・午後にレクレーションを実施し、歌を歌っていただいたり手足を使っただき、認知症の進行を緩徐にするような努力を行い、入居者様も楽しみながら参加されています。</p> <p>また、毎月会議時に確認をしスタッフ同士での見直しを行っています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>国営吉野ヶ里歴史公園の北西に位置する木造のホームで、同一敷地内には宅老所があり、周りは民家が立て込み、隣接して地区公民館があり、近くには小学校も見え、生活感がある処である。管理者は、ホームの従業員の質の向上を目指し、徹底した職員研修を実施している。又、本部も全従業員に1年間の目標を持たせ、その目標の達成や資格取得・遂行に協力している。(ヘルパー・介護福祉士・ケアマネジャー等)全体に若い従業員が多く、活気に満ちており、介護の工夫を実践して、毎日の退社時には入居者とのコミュニケーションを図るため、挨拶して握手を実行している。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	月1回の調整会議時にスタッフ全員で斉唱し、地域密着型サービスの理解を得るようにしている。	「入居者様の健康と安全安楽を第一に考え、地域の中でその人らしく穏やかに生活していただけるよう支援します」を理念としている。毎月の職員会議では全員で唱和し、理念に沿ったサービス実践の確認をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校からの訪問レクリエーションや、暑中見舞いのハガキを頂いたり顔なじみになり、回を横ごとに入居者様との距離感が無くなっている。また、地域の行事参加も行っている。	地域の自治会に加入しており、配布物や回覧板による行事の広報で、年末の注連縄作りや神社参拝には利用者と参加している。清掃事業には職員が参加している。又、小学校からは運動会の案内を戴いたり、クリスマスにも楽しい交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事への参加を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議の開催を行い、苑での行事参加などお願している。	運営推進会議は、地元区長・地域包括支援センター職員・入居者家族の出席の下に2ヶ月1回開催され、ホームの行事報告や意見交換がなされ、双方向的な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政主催の研修会の参加や避難訓練や敬老会などへの参加もしていただいている。	地域包括支援センターとは密に連絡調整を行い、事業所の実情等積極的に伝えている。又、行政主催であるケアネット神埼の2ヶ月に1回の研修会に参加し、情報交換の中で施設の災害時の協力体制等にも取り組む協議もしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会をおこない、身体拘束の意味などを理解するように努めている。	従業者は身体拘束の弊害を正しく理解しており、勉強会も繰り返し実施して拘束のない支援に取り組んでいる。ホームは昼間玄関の施錠もされず、自由に出入りが出来る。玄関がリビングから死角となっているが、職員が目配りと、ドアに取り付けられた風鈴で、見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会をおこない、虐待の捉え方などを理解するように事例を挙げ虐待がないように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会は実施しているが、現在該当する事例はありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約や解約についての説明を行い、疑問点などがないかのお尋ねを行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、運営推進会議、行事参加時など必ずお声掛けをさせて頂き、時間を掛けてお話させていただくようにしている。	日頃の面会時や行事の参加の折や運営推進会議の出席の時には必ず声掛けをして意見等表出し易い雰囲気づくりをしている。面会の少ない家族には電話をかけたリアンケートによる意見を求め、それらを運営に反映させている。又、玄関には「意見箱」の設置もされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回全スタッフと面談を行い、意見や提案等を聞き運営に反映している。	管理者は月1回全スタッフと面談を行い、意見や提案を聞き、サービスの質の向上を図っている。又、代表者も2ヶ月に1回面談を実施して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年年度初めに一年間の目標を掲げ、自己評価を行い管理者も面談を行い目標達成のアドバイスなどを行う。中間評価を行うときも面談を行い、意見を聞いたりアドバイスを行うようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の実施やスキルアップ支援制度の導入。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	紀水縁系列のオナー会議に参加し情報交換や研修会への参加をしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にご本人及びご家族様と面談を行い、お話を伺いしながら関係づくりを行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前、ご家族様だけの面談を行い、お困りごとや不安・要望などをお伺いしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時に色々なサービスがあることなども必要に応じお話をさせていただき、見学などもしていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションを一緒に行ったり、同じ食事を同じテーブルで食べたりしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時苑での生活状況をご家族にお伝えしたり、面会が遠のいているご家族には電話でお伝えしたりしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間を設けず、面会者がいつでも来ていただけるようにしている。また、面会者の方々へ入居者様同様の出迎えを行っている。	かかりつけ医への受診や美容院は家族に依頼しており、馴染みの人との関係継続が図られている。又、行事の花見や外食希望時のドライブ等で近隣に出掛けており、入居者の馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おやつやレクリエーションはホールで食べていただいたり行っている。毎日曜日はお買い物デイを設定し、皆さんでドライブを兼ねてお買い物に外出している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などで退去された入居者様へのお見舞いを行ったり、様子を伺ったりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の面談時のご要望や入居後の日常の会話などから、ご本人本位の支援を行うよう取り組んでいる。	面談を通して入居前の生活歴や本人本位の要望、意向を把握して支援している。困難な時は家族の意見を参酌している。日々の生活の中でも入居者が納得をされたうえで支援する事を基本としている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に御家族様や以前利用されていた事業所などから聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を観察し記録に残し、情報を共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様のご要望や意見、スタッフの意見などを取り入れ作成している。	入居者や家族の要望を聞き、介護計画を作成している。また、毎月のアセスメントと3ヶ月毎のモニタリングでケアの効果評価を行い、医師や職員の意見も取り入れて現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の経過記録や月間報告書、申し送りなどで状態を把握し介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様のご家族にもサービス情報を提供している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事等に出来る限り参加している。安全で豊かな暮らしが生活できるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様の納得された医療機関への受診を行っている。	入居前のかかりつけ医や本人・家族の希望される医療機関への受診がなされており、通院は基本的に家族の同行としている。また、協力医療機関からは、月2回の往診と24時間対応の協力が得られている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフが看護師(管理者)に状況報告を行い、ご家族様へ状態報告を行い受診等の相談などを行うようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合は、情報提供を行い、入院中は面会時などに看護師及び医師などに状態の確認をおこなう。退院時も同様にじょうほうの交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化された場合、ターミナルの件に値手は説明を行っている。	重度化した場合や終末期のあり方について、入居契約時に入居者・家族に「重度化した場合及び看取りにおける対応に関する指針」の説明をし、同意を得ている。これまでに看取りの実績はないが、協力医療機関との連携により、安心できる終末期の支援体制が出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	調整会議事に勉強会を実施し避難訓練の実施や救命講習を取り組むように行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練の実施(地域包括支援センター及び地区区長さん参加あり)。地区の避難計画を頂き緊急時の避難先の確認を行っている。	年2回、昼夜の火災を想定した連絡通報訓練や消火・避難訓練等を地元区長や地域包括支援センターの参加の下に実施している。今年度中にはスプリンクラーの設置も計画にある。行政からの災害時連絡網として「防災行政無線個別受信器」が設置され24時間作動する。避難先も定めている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	調整会議時に言葉使いや対応について管理者が指導を行い、入居者様に対し尊重した言葉掛けや対応に努めている。	管理者は従業者の接遇には特に配慮しており、日々に指導し、研修も実施している。又、外部研修にも積極的に参加している。入居者を年長者として尊重し、支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の自己決定や希望等を言葉掛けしお伺いするようにしているが、危険だと思われるときは語絶命を行い対応させていただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の意見を伺い、入居者様のペースに合わせて対応させていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容・カラーなど本人様やご家族様の要望をお伺いし行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の出来ることを少しずつ負担にならない程度に食事の準備を行っていただいたり、一緒にお食事をさせて頂きお話をしたりしている。	入居者の負担にならないよう、出来る事を手伝ってもらい、楽しい食事を摂ることをモットーにしている。従業者も一緒に同じ食事をし、食べたい物や外食の話題にもなり、楽しい雰囲気である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量、水分量の記載を行い、必要に応じかかりつけ医に報告を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、入居者様の状態に合わせて見守り、支援を行っている。また、必要に応じ介護計画に取りいれている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見てトイレのお声掛けやごあんないを行い、必要時見守りや支援を行っている。	入居者一人ひとりの排泄パターンや表情からトイレ誘導を支援している。昼間は脱車イス作戦が成功し、オムツ使用者がいない。夜間はポータブルトイレ利用者が多く、職員が見守りながら支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品の摂取を行っていただいたり、レクリエーションや散歩などを取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の希望をお伺いし入っていただいているが、入浴間隔が開いている入居者様にはスタッフがお声掛けを工夫し入っていただくように努めている。	基本的に2日に1回の入浴としているが、希望があれば何時でも入浴できる。入浴を嫌がられる入居者には無理強いせず、時間をかけて支援している。夏場はシャワー浴等もあり、毎日の清潔を支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様のご要望で、自室で休養されたりホールで過ごして頂いたりしている。やかんも消灯時間などはなく、希望される時間に休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調整会議で薬の副作用などの説明を行い、スタッフが把握するように努め、入居者様の変化などの観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴や趣味をお伺いし支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様にお声掛けを行い散歩等に一緒に出かけたりしている。入居者様の希望はご家族様の面会時などにお話し外出していただいたりしている。	天気の良い日は、敷地内のホームと隣接の宅老所前の広場を散歩したり、声かけ交流をしている。又、隣の塀堺には花が植えられ、その水やりを楽しみにしている。四季折々の花見やドライブを兼ねた外食の支援もしている。	



自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金などはないが、毎日曜日に入居者様と一緒に買い物を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様が希望されればご家族様に電話をかけお話されている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を大事にするように心掛けています。	リビングは朝の陽ざしが入り、明るい。周りにはカレンダーや花、植物、季節の飾り(クリスマスツリー等)が置かれ、居心地良く過ごせる工夫をしている。台所は対面式で、料理をしている姿が見られ、生活感があり、見守りが出来る設えである。入浴後もまっすぐリビングに来る事ができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様が自由に過ごせるよう空間作りを心がけている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居の際お話をしているが、使い慣れたものや好みのものの持ち込みは少ない。	管理者は、入居時に家族に使い慣れた馴染みの物の持ち込みを勧めている。居室は人形や写真が飾られたり、仏具を持ち込むなど、その人らしい部屋づくりがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーで移動などが入居者様が容易に出来るようにしており、自立した生活が送れるようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない